

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和元年 7月29日 (月)

2 確認箇所

8.5m盤 (2, 3号機タービン建屋東側)

3 確認項目

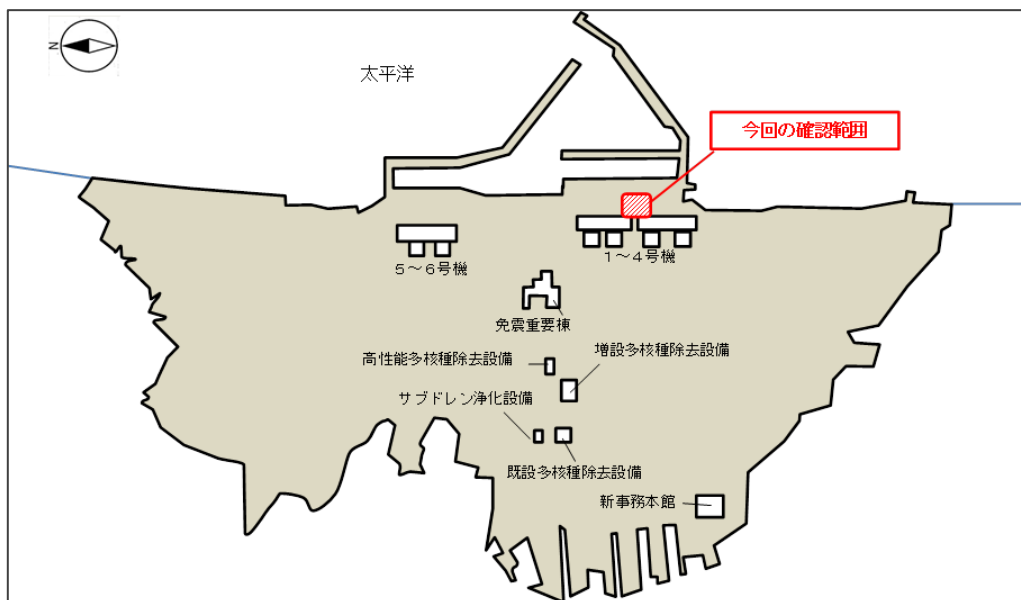
海水配管トレンチ内滞留水浄化設備撤去前の状況

4 確認結果の概要

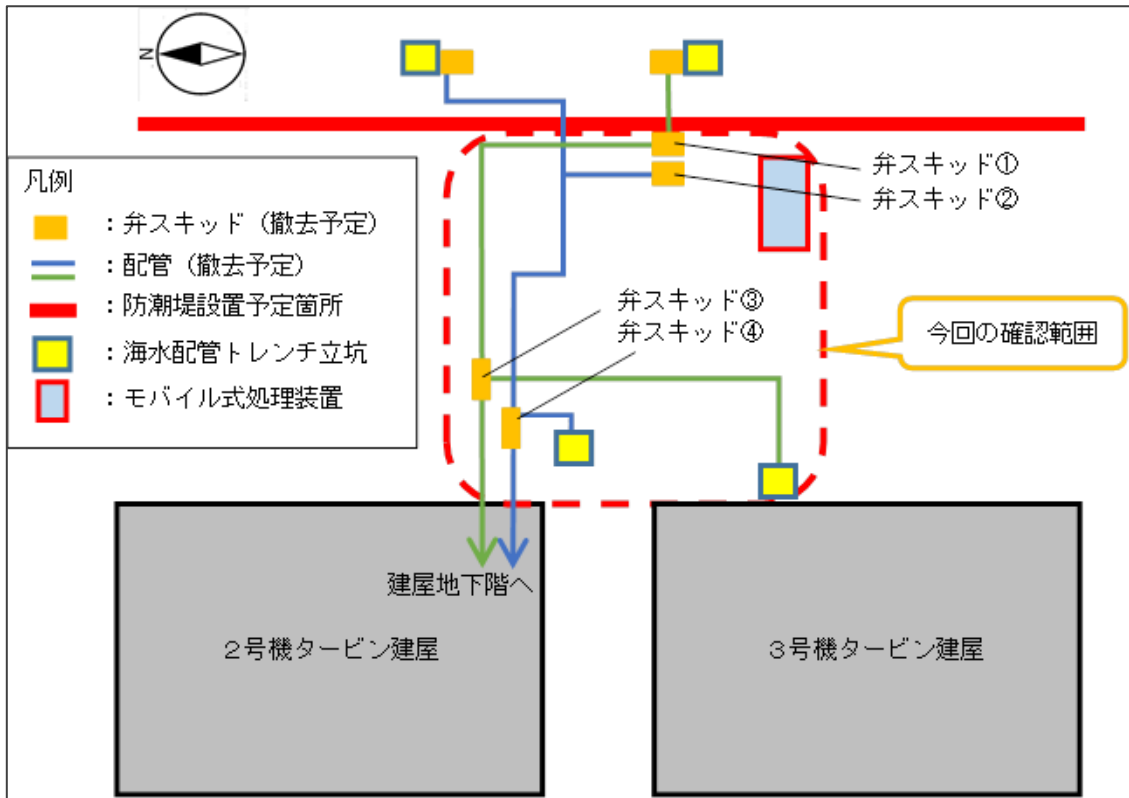
切迫性が高いとされている千島海溝津波に対して、建屋への海水の流入に伴う汚染水の流出と増加の防止、8.5m盤の重要設備の津波被害軽減を目的として、1～4号機タービン建屋東側に防潮堤の設置が計画されている。

防潮堤設置工事に干渉し、現在は使用されていない海水配管トレンチ内滞留水浄化設備の撤去が予定されていることから、設備撤去前の現状を確認した。

- ・海水配管トレンチ内滞留水浄化設備の撤去工事では、配管や弁スキッドの撤去が予定されており、設備撤去範囲については(図2)のとおりである。(写真1)
- ・東京電力によると海水配管トレンチ内滞留水浄化に用いていたモバイル式処理装置は他設備で使用する方針とのことである。(写真2)



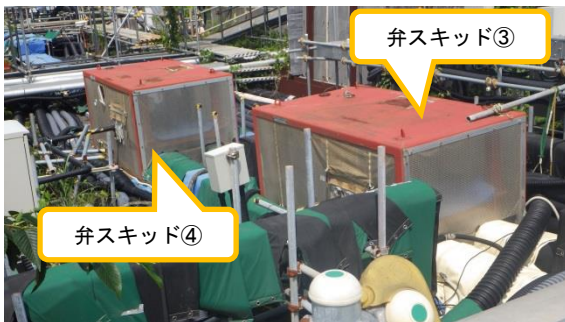
(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(図2) 海水配管トレンチ内滞留水浄化設備撤去範囲概略図



(写真1-1)
弁スキッド①、②



(写真1-2)
弁スキッド③、④



(写真1-3)
撤去予定の配管の一例



(写真2)

- 5 プラント関連パラメータ確認
各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。